



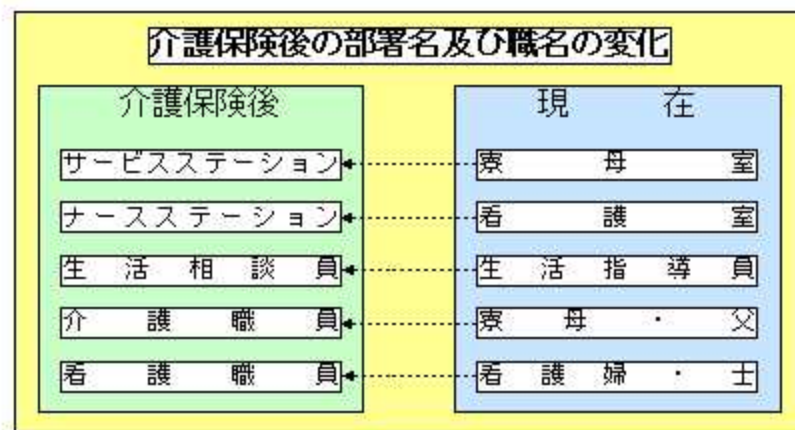
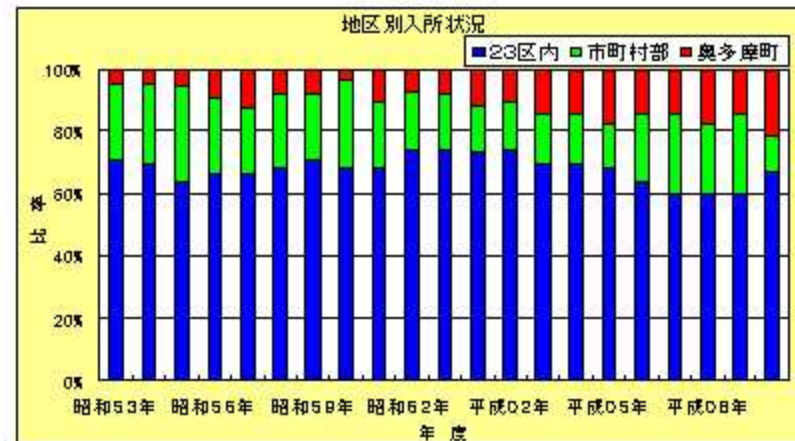
**施設の沿革**

当苑は、昭和52年7月に、施設に入れないまま自宅において、お困りになっている常時介護を必要とする人達の利用する施設が少なかつた為、寿楽荘に次いで第二のホームとして地域社会の要望に応える為に開苑致しました。

東京都内で44番目の特別養護老人ホーム(定員85名)であり、経営母体は社会福祉法人双葉会(理事10名・監事2名・評議員21名)、他に特別養護老人ホーム寿楽荘(定員16名)、氷川保育園(定員70名)、双葉会診療所(10床)を経営しています。



屋上からの風景



地区別入所状況

利用者の入所状況を出身地別に表して見ますと開苑当初は、23区内から70%、市町村部から25%、奥多摩町から5%程度でしたが、徐々に奥多摩町からの利用が増えてきています。

2年前までは、23区内からの割合が60%にまで下がっていましたが、又昨年辺りから元に戻り、市町村の割合がここに来て大きく減ってきています。

現在の割合は、23区内が70%、市町村が10%、奥多摩町が20%程度となっています。

男女別年齢状況

平均年齢に関しては、20年の間に男性は序々に高くなってきたのに対して、女性は約78歳から85歳へと確実に上がって来ています。

この結果でもおわかりになる様に、男性に比べ女性の方が、平均寿命が伸びているという事が当苑に於いても確実に現れています。

これから見ても平均年齢は男女共、年々高くなって行く事が予想されます。ただ、近年では60代の方の入所も増えて来ております。又、介護保険制度下では、40代からの入所も予想される事から、平均年齢は下がって来ると予想されます。

措置から介護へ

現在の措置制度に変わり、平成12年4月から介護保険制度がスタートするのはこびとなり、今月からは介護認定作業も始まります。

次年度からは、苑生活もいろいろな面で変わって行く事が予想されます。

今回は、その中から利用者の皆様をお世話させて頂く職員の仕事や部署名が変わることについて紹介させて頂きます。

皆さんに慣れ親しんで頂いた呼び名が変わるのは少し寂しい想いが致します。



# 日帰り旅行

社協  
ボランティア 酒井 久(69)

五月三十一日(月)東京の予報は晴れのち曇り、天気は間違いない。日帰りの旅行だ。富士急の車椅子乗車可能なバスで出発。緑濃い皇居、靖国神社、明治神宮を周辺から見学。待望のお昼は、明治神宮文化会館の食堂で四、五人毎のテーブルに職員の方が加わり、苑を離れての食事に食数もずさんだようだ。ボランティアの仕事は、参加者が安全に、楽しい旅が出来るように尽くす職員の方の補助に徹すること。楽しみながら働いたつもりだが、どうだったろうか。



# 一泊旅行

栄美士 原島敦子

六月二十九、三十日と利用者の一泊旅行が行われ、二十四名の方が参加されました。行先は群馬県水上温泉、ホテル聚楽。昼食後は旅行会社の添乗員さんまで手伝っての全員大浴場での入浴、貸切にして頂いた大浴場で温泉に浸った後は各々、将棋をしたり、土産物を買ったりして過ごしました。夕食の宴会では五人のきれいだころの三味線や踊りに誘われ、利用者の方も次々と舞台上がり、豪華

な食事に箸も進み、上州の夜を楽しみました。翌日は水沢うどんを食べたりして無事帰途に着きさっそく土産が配られていました。



一泊旅行  
(左から慧枝さん、近藤さん、森安母)

## 【利用者からの一言】

この様な遊び方が有ったのか、とても満足感があった。一泊旅行で加した。又、機会が有ったらぜひ参加したい。ありがとうございます。

皆方秀雄

とても楽しかった。又、回りの人達も楽しそうでしたし、宴会も盛大でおもしろかった。帰りの昼食で食べた水沢うどんがとてもおいしかった。

佐々木栄子

私は旅行が大好きだったので、とても楽しかったです。又、連れて行ってくださるのでしたら参加したいと思えます。

赤坂千ヨ

「最高に良かった」の一言でした。皆さんと一緒に一泊旅行が出来、気分転換になった。宴会が賑やかでとても楽しかった。

小原武雄

# 盆踊り大会

森安母

二年続けて雨に泣いた盆踊り大会であったが、今回は準備の段階から天気がよく、夜には星が出る程でした。お年寄りも今日の為の待ち待った練習を重ねて来た。感じが見上げられ、中には椅子に座りながら手を動かして、その場所の雰囲気を感じて、家族や地域の方々も参加もした。家族や地域の方々の進んで行きました。お年寄りの顔を見ておられたのが印象的で、お年寄りの表情が笑顔になっていました。又、地域の方達のボランティアで色々な模擬店が開かれ、焼きそばやパンダ焼きやお酒も楽しめました。外に出られなかったお年寄り達も、ジュース片手にお花火の音でウキウキした様子盆踊りでした。



盆踊り大会  
(左から赤坂さん、岡部さん、藤田さん)



盆踊り大会  
(干場さん)

## 外食デー

夏休み休暇 ボランティア 島崎 爽(16) 外食デーでは、いつもの食事とは違って楽しそうに食べていたと思います。

ボランティアをして下さった子供達に囲まれ、家庭的な料理で夏の一時を楽しみました。

森安母



外食デー  
(左から荒井さん、森田安母)



# 獅子舞の慰問

8月22日に地元小留浦地区の祭礼があり獅子舞の慰問がありました。獅子が見に行くという「花掛り」の舞いに暑い日にもかかわらず大勢の利用者の方が見学されました。奥多摩の獅子舞を始めて見る方もいて、「なぜ花の被り物をしてるの？」などと不思議そうでした。



## 獅子舞の由来について

獅子舞の起源は千二百四十五年といわれますが、奥多摩には、室町時代（四百七十年程前）に、山崎角太夫によって、この小留浦（ことすら）地区に、最初に伝えられ、それが各地区に広がってその地区独自の獅子舞として、現在に受け継がれています。



奥多摩郷土研究会より

## 6月～8月のボランティア状況

- 食事介助・・・トミヨ会
- 草取り・・・トミヨ会
- シャツ交換・・・馬場静子 酒井 久 奥平恭子  
小峰幸子 小峰和子 高島静子  
杉山 初 村木江美子 塩野悦子  
将棋V・・・奥平 進 堀口初夫 杉山金三  
原島敏夫 川久保勝男
- 華道クラブ・・・田中啓祐
- 旅行付添い・・・酒井 久 川久保勝男
- 指圧奉仕・・・奥多摩奉仕会
- 厨房手伝い・・・杉山 初 奥平恭子 小峰幸子  
小峰和子 小沢トメ子
- パーマ・・・松木あさ子
- 演劇・・・氷川小学校 演劇クラブ 仲州会  
末広会 琴の会
- 青少年体験V・・・杉山由美 島崎政子 大野裕美  
島崎 葵 増田由美 清水なおと  
大久保貴惟 坂村友史
- 布団乾燥・・・酒井 久
- 授産店・・・双葉商会 社協職員 奥多摩町職員



## 今後の予定

- |  |                                       |                             |
|--|---------------------------------------|-----------------------------|
| 12月  | 11月                                   | 10月                         |
| 昼食会<br>ゆず湯会<br>誕生会<br>ホムレム大会<br>年忘れ大会<br>キャンドルサーピス | 全館清掃<br>紅葉狩り<br>ホムレム喫茶<br>誕生会<br>外食デー | 運動会<br>ホムレム喫茶<br>十三夜<br>誕生会 |

## 職員紹介

介護保険制度下では、「生活相談員」と名称が変わる、生活指導員の佐々木健児さん(38)です。昨年度のケアマネージャーの試験に合格して、講習も終了し、新たな仕事に意欲的に取り組んでいます。まだ独身の為、花嫁募集中です。



## 編集後記

広報委員長 奥平周二

平成12年4月の介護保険制度のスタートまであと半年と云う状況の中、今回の広報誌発行に当たり委員を募ったところ14名の職員の賛同を得ることができ、第1号の発行にこぎつけました。5月よりの5ヶ月間、勤務終了後に素人集団の委員が集まったの委員会であり紆余曲折の連続でした。これから迎える介護保険下において、今まで以上に家族・関係団体のご協力・ご支援が必要不可欠であり、地域社会全体で支える福祉施策の実現に向け、更なるご理解をお願いし編集後記とさせていただきます。